

## 研究会委員の主な研究業績

(2014年4月1日から2015年3月31日までに発表のもの、5点以内)

飯島 寛之

- (研究ノート) 「『量的・質的金融緩和』と中小企業」中小企業家同友会全国協議会・企業環境研究センター『企業環境研究年報』第19号、2014年12月。
- (学会コメントーター) 「量的金融緩和による過剰貨幣資本の国際化—米中の信用拡張連鎖はあるのか—」信用理論研究学会2014年度秋季大会、2014年10月。

池上 岳彦

- (共 著) 片桐正俊編『財政学【第3版】 転換期の日本財政』(第2章「日本財政の展開」の執筆)東洋経済新報社、2014年4月。
- (共 著) 朱為群・徐一睿編『財政公平』(「地方交付税 日本的財政調整制度」の執筆)上海财经大学出版社、2015年1月。
- (編 著) 『現代財政を学ぶ』(全体の編集及び序章「現代財政を学ぶ視点」、第1章「現代財政の課題と特徴」、第4章「財政の政策決定過程 予算と税制改革」、第12章「社会保障と教育の財政制度」、終章「現代社会と財政の課題」の執筆)有斐閣、2015年3月。
- (書 評) 「井手英策編『日本財政の現代史 土建国家の時代 1960~85年』有斐閣、2014年』『経済セミナー』2014年10/11月号、2014年10月。
- (書 評) 「持田信樹・今井勝人編『ソブリン危機と福祉国家財政』東京大学出版会、2014年』『武蔵大学論集』第62巻第2・3・4号、2015年3月。

岩崎 俊夫

- (共 著) 『経済系のための情報活用2 Office 2013対応』実教出版、2015年2月。
- (論 文) 「社会統計学と数理統計学『統計通報』誌(1975~78年)での討論」『立教経済学研究』第68巻第2号、2014年10月。
- (書 評) 「泉弘志『投下労働量計算と基本統計資料 新しい経済統計学の探求』大月書店、2014年』『経済』、2014年6月。
- (その他) 「経済統計学・社会科学方法論・論文 ARCHIVES (Ver. 2)」私家版、2015年2月。

## 林 采成

- (共 著) "The Decade of the Great War: Japan and the Wider World in the 1910s", Brill, July, 2014.
- (共 著) 『에너지혁명과 일본인의 생활세계』(エネルギー革命と日本人の生活世界) 韓国・博文社, 2014年10月。
- (共 著) 『植民地台湾の経済基盤と産業』日本経済評論社, 2015年3月。
- (論 文) 「解放後の北朝鮮における鉄道の再編とその運営実態」『日本植民地研究』2014年7月。
- (学会発表) "The Rise of Empire and Colonial Contradiction: "Healthy" Korean Cattle in the Japanese Empire", The 12th Biennial Conference of Asian Studies in Israel, May, 2014.

## 岡部 桂史

- (共 著) 『植民地期台湾の経済と社会』(執筆担当部分: 第7章「農業技術の移植と人的資源」) 日本経済評論社, 2015年3月。
- (共 著) 『工業化と企業家精神 ヨハネス・ヒルシュマイヤーの時代』南山大学社会倫理研究所, 2015年3月。
- (論 文) 「戦時経済統制の展開と農業機械工業」『大阪大学経済学』64巻2号, 2014年9月。

## 大友 敏明

- (学会発表) "Henry Thornton on the Independence of the Central Bank", The 18th Annual Conference of the European Society for the History of Economic Thought, University of Lausanne, May, 2014.

## 坂本 雅士

- (論 文) 「IFRS をめぐる税務論点」『税務会計研究』第25巻, 2014年7月。
- (論 文) 「法人税法における公正処理基準について 解釈論の展開と課題」『会計』第186巻第2号, 2014年8月。
- (論 文) 「会計基準の多様化に伴う税務論点 公正処理基準の観点から」『会計』第187巻第3号, 2015年3月。
- (学会発表) 統一論題報告「会計基準の多様化に伴う税務論点」日本会計研究学会第73回大会, 於: 横浜国立大学, 2014年9月。
- (事例研究) 「[事例1] 美術品等の減価償却の範囲, [事例2] 源泉所得税の徴収漏れ」『税研』第180号, 2015年3月。

## 関口 智

- (著 書) 『現代アメリカ連邦税制 付加価値税なき国家の租税構造』東京大学出版会, 2015年2月。
- (論 文) 「イギリス地方財政・公会計制度とマーリーズ・レビューの地方税改革論」『地方財政』第53巻第10号(4~23頁), 2014年10月。
- (共著論文) 「スウェーデン中央政府の予算・決算と公会計制度」(伊集守直・木村佳弘と共に著)『立教経済学研究』第68巻第4号, 2015年3月。
- (テキスト分担執筆) 池上岳彦編『現代財政を学ぶ』(第6章「租税の理論」の執筆), 有斐閣ブックス, 2015年3月。
- (テキスト分担執筆) 池上岳彦編『現代財政を学ぶ』(第7章「税制の国際比較と日本税制」根岸睦人との共同執筆), 有斐閣ブックス, 2015年3月。

## 菅沼 隆

- (共 著) 日本労働研修・研究機構『失業保険制度の国際比較 : デンマーク, フランス, ドイツ, スウェーデン』(「デンマーク」の章を北澤謙と執筆)日本労働研修・研究機構, 2014年7月。
- (共 著) Yannick Vanderborght & Toru Yamamori, (2014) "Basic Income in Japan", 'Transforming Japan's Bismarckian Welfare State Basic Income versus Inclusive Social Insurance', Palgrave Macmillan, October, 2014.
- (共 著) 土田武史編『社会保障論』(「雇用と社会保障」, 「日本の社会保障の歴史」, 「諸外国の社会保障デンマーク」を執筆)成文堂, 2015年3月。
- (研究ノート) 「連帯と健保組合 : 保険者形態論から考える」『健康保険』第69巻第2号, 2015年2月。
- (学会発表) 「デンマークにおける雇用形態の多様化と労使関係」社会政策学会2014秋季大会共通論題, 於:岡山大学, 2014年10月。

## 田島 夏与

- (共 著) 田島夏与, 石坂浩一, 松本康, 五十嵐暁郎編『再生する都市空間と市民参画 日中韓の比較研究から』・「東京の再都市化と都市空間への住民参画の可能性」クオン, 2014年4月。

## 遠山 恒司

- (共 著) 『大都市産業集積の変革と活性化に関する調査研究報告書』日本立地センター, 2015年3月。

- (共著研究ノート) 「完成車組立工場地区別における中小自動車部品サプライヤーの特性：全国900社アンケート調査結果から」『立教経済学研究』第68巻第2号, 2014年10月。
- (共著研究ノート) 「中小自動車部品サプライヤーの階層別特徴：全国約900社アンケート調査の検討」『立教経済学研究』第68巻第3号, 2015年1月。
- (研究発表) 「中小部品サプライヤー・アンケート結果の多角的検討」自動車サプライヤーシステム研究会, 於:東京大学ものづくり経営研究センター, 2014年7月。
- (招聘公演) "KARAKURI KAIZEN Widespread method of continuous improvement by human centered design ", Universita Carlo Cattaneo LIUC LEAN CLUB ANNUAL CONFERENCE, Castellanza, Italy, October, 2014.

### 星野 智樹

- (論 文) 「『ドル化』政策をみる視点 エクアドルとエルサルバドルの事例を中心とした考察」外国為替貿易研究会『国際金融』第1267号(32-38頁), 2014年12月1日。
- (論 文) 「2000年代におけるパナマの国際収支 『ドル化』政策との関連でみた対外経済関係を中心に」立教大学経済学研究会『立教経済学研究』第68巻第3号(147-169頁), 2015年1月。

### 菊池 航

- (論 文) 「戦後東洋工業における製品開発組織の展開」立教大学経済学研究会『立教経済学研究』第68巻第1号, 2014年7月。
- (書 評) 「宇田川勝著『日本の自動車産業経営史』」経営史学会『経営史学』第49巻第3号, 2014年12月。
- (書 評) 「山崎修嗣著『日本の自動車サプライヤー・システム』」政治経済学・経済史学会『歴史と経済』第226号, 2015年1月。
- (共著研究ノート) 遠山恭司・清畠一郎・菊池 航・自動車サプライヤーシステム研究会「中小自動車部品サプライヤーの階層別特徴：全国約900社アンケート調査の検討」立教大学経済学研究会『立教経済学研究』第68巻第3号, 2015年1月。
- (学会発表) 「中小自動車部品サプライヤーの企業成長」産業学会東部部会, 2014年12月。

### 齋藤 邦明

- (論 文) 「都市家計の居住行動と生活水準 東京を中心」加瀬和俊編『戦間期日本の家計消費 世帯の対応とその限界』東京大学社会科学研究所研究シリーズNo.57, 2015年3月。

- (共著論文) 「東京の教員世帯における肉類消費 1919年「教員家計調査」を利用して」 加瀬和俊編『戦間期日本の家計消費 世帯の対応とその限界』東京大学社会科学研究所研究シリーズNo.57, 2015年3月。
- (その他) 「近代日本における農地と水への投資 土地改良事業の経験」有本寛編『途上国日本の開発課題と対応：経済史と開発研究の融合＜中間報告書＞』アジア経済研究所, 2015年3月。